

SDGs達成とレジリエントな社会の 実現に向けた持続可能なシステムの 再構築を目指して

2023

1
・
20
[FRI]

SDGsを達成し、気候変動に関するパリ協定を遵守することができるよう、わたしたちの社会が持続可能な社会に転換するためにはレジリエンスを発揮する能力を高める必要があります。富山大学で開催されるこの国際会議においては、SDGsの達成に向けてどのような転換システムが長期にわたるレジリエンスを構築できるかを世界各国の専門家とともに対話します。

第一日目は、我が国を代表するサステナビリティ学の牽引者による特別講演を日本語でご用意しています。二日目は、世界4大陸12カ国から集まった専門家が、環境変動下のレジリエンスに着目した食料システムの転換、水資源の持続可能性とレジリエントな社会への転換、生態系管理のための社会生態学的転換という3つのテーマで討論を行います。

会場：工学部棟多目的ホール
方法：ハイブリッド
言語：日本語



← zoom参加申込

- 10:15-10:20 開会挨拶
齋藤 滋 (富山大学長)
- 10:20-10:30 記念撮影
- 10:30-11:10 特別講演 第一部
「COVID-19直面下のSDGs局在化に向けた脱炭素・連携都市圏の構築」
講師 武内 和彦 氏 (地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長)
<https://www.iges.or.jp/en/about/staff/takeuchi-kazuhiko>
- 11:10-11:50 特別講演 第二部
「人新世における経済活動 - 課題と可能性」
講師 福士 謙介 氏 (国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) 客員教授)
<https://unu.edu/experts/kensuke-fukushi.html>
- 11:50-12:00 閉会挨拶
池田 真行 (富山大学理事・副学長)

